

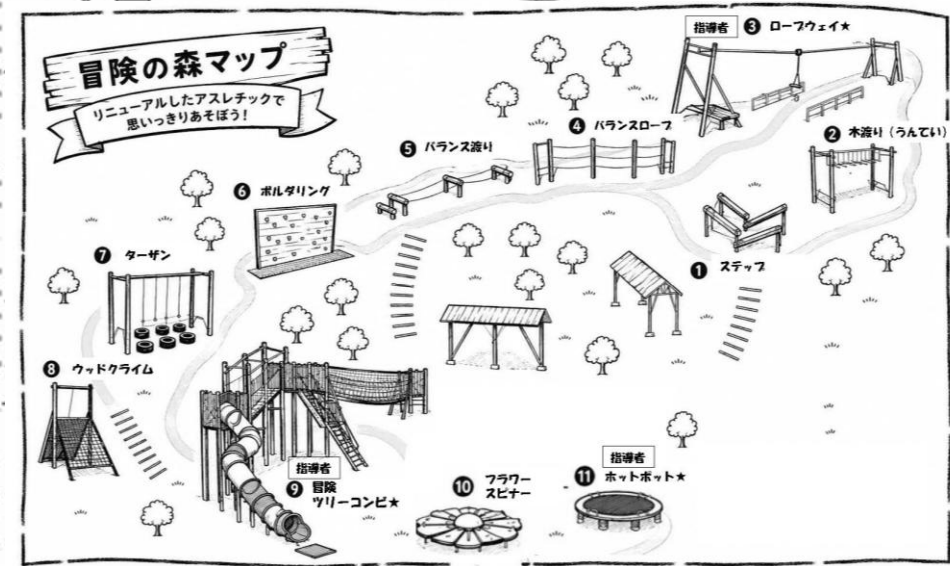
プログラム名	アドベンチャー	活動時間 60～90 分
概 要	○自然の中に設けられている 11 ポイントの冒険遊具に挑戦し、柔軟性、平衡性などの体力的要素と集中力や判断力、挑戦する心などを養う。 ○最大人数 70 人（それ以上の場合は要相談） ■無料	
ねらい (SDGs)	 	○アドベンチャーを通して運動することの楽しさに気づき、運動習慣に身に付けることで健康的な生活に繋げる。 ○班単位で活動することで友だちのことを考え、ペースを合わせるなど思いやりのある人間関係を築く。
準備物 (服装など)	○教育センター・・・救急セット ○研修団体・・・運動着（長袖長ズボンが望ましい）、運動靴、軍手 水筒、虫よけスプレー など	
研修の流れ	○集合場所に整列（団体引率者の指導） ○準備体操 ○活動についての説明（センター職員） ○活動開始/終了 ○再度集合し終わりのあいさつ ○次の活動に向けて移動（団体引率者の引率）	
研修場所	集合場所 ○屋外・・・冒険の森広場 ふれあいの広場	活動場所 冒険の森
研修生への 留意点	○班でまとまって活動する。 ○チャレンジする気持ちで、活動を楽しむ。 ○遊具は通し番号順に行う。 ○遊具のロープや足場を、わざと揺らしたりしない。 ○活動中、友達を急かさない。 ○怪我防止のため、その遊具ができるかどうか自分で判断する。 ○活動中の水分補給は、各自で行う。 ○遊具の待ち人が多い場合、班で相談し、その先の遊具に移動する。	

引率者への
留意点

班分け
4～6 人班

- 事前準備
- ・ 研修生の班分けをする。(4～6 人が望ましい)
 - ・ 引率者の監察ポイントの配置を決める。
- ※遊具番号：3、9、11（下図の★）
- 研修当日
- ・ 上記、3ヶ所の遊具をはじめ、研修生の観察をする。
 - ・ 研修生が怪我をした場合は、センター職員に報告する。

遊具名		留意点
1	ステップ	斜めの板を跳んで渡る。
2	木渡り（うんてい）	順番にバーをつかんで進む。
3	ロープウェイ★	ロープから手を離さず、できるだけロープの上を持つ。
4	バランスロープ	ロープをしっかり握り渡る。揺らさない。
5	バランス渡り	バランスを取りながら渡る。
6	ボルダリング	壁を渡る。
7	ターザン	ロープにつかまってタイヤを渡る。
8	ウッドクライム	木の板とネットを登る。
9	冒険ツリーコンビ★	前の人が下まで降りたのを確認して、滑り台を滑る。
10	フラワースピナー	持ち手をしっかり持ち、くるくる回る。
11	ホットポット★	下に落ちないように気をつける。



【冒険の森 遊具の名称と図】